

学校教育アンケート 結果報告

吹田市立山田第五小学校
校長 佐々木 康雄

寒さ厳しき中にも、少しずつ日も長くなりはじめ、春が近づいてくる思いがいたしません。平素は、本校学校教育活動に何かとご理解とご協力をいただきまして誠に有り難うございます。

さて、このたび皆様方のご協力のもとに、昨年12月に実施しました「学校教育アンケート」の結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。このアンケートは、学校の教育活動が子どもたちの実態や保護者の学校教育に対するニーズなどに対応しているかどうかについて、学校自ら診断表（診断基準）に基づいて学校教育計画の達成度を点検し、学校教育改善についての方策を明らかにするものです。

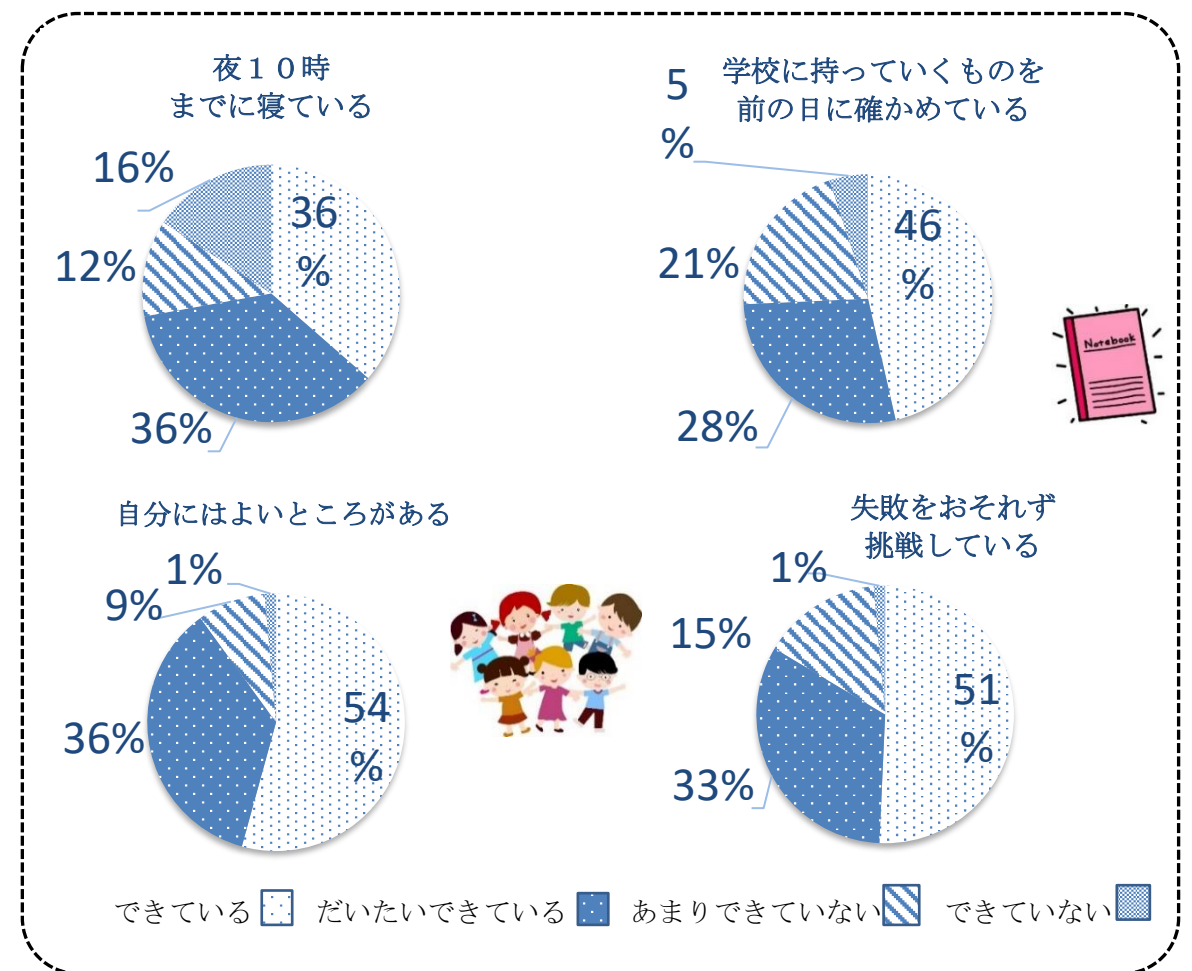
今回、児童の生活習慣調査と学校生活アンケート、保護者アンケートの各結果を分析しています。今年度は、コロナによる制限が解除され、学校行事がほぼ滞りなく開催できたこともあり、総じてポイントのアップが見られました。今後はこの結果を踏まえ、学校評議員会のご意見もいただきながら、本校教育活動のさらなる改善を図ってまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

※アンケートの数値は肯定的な回答の合計となっています。(例:「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた数の割合(%))

生活習慣調査より

- 「朝食を毎日食べている」児童は、全体で94%でした。朝食を食べないと、人間の脳のエネルギーとなるブドウ糖が補給されません。朝食をしっかりとって脳と体を目覚めさせましょう。ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。
- 「毎日、夜10時までに寝ている」児童は、全体で72%と、まだまだ夜更かしが多い傾向にあります。「毎日、朝7時までに起きている」児童は、全体の75%でした。夜更かしは、学校生活にも大きく影響します。今後も「早寝・早起き・朝ご飯」の生活リズムを心がけさせたいものです。
- 「学校に持っていくものを前日に確かめている」では、確かめている児童が全体の74%となっています。持ち物を確かめることは忘れ物をなくすことに繋がり、さらには学力の定着にも関わってきますので、準備物の点検はしっかりさせたいものです。

- 「自分には良いところがある」では、全体の90%の児童が肯定しており、これからも「学力を高めて自信をつける」、「一人ひとり、かけがえのない大切な存在であることを伝え続ける」など、自己肯定感を高めるような取り組みを継続していきたいと思えます。
- 「難しいことでも失敗を恐れずに、挑戦している」では全体の84%の児童が肯定的にとらえています。「ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある」児童は全体の95%でした。今後とも成功体験を多く積む機会を増やし、挑戦する意欲を育てていきたいと思えます。
- 「学校のきまりや、家での約束を守っている」児童は全体で91%、「困っている人がいたら、進んで助けている」児童は全体で91%、「いけないことをしている友達を注意できる」児童は全体で83%、「自分がいけないことをした時はちゃんとあやまることができる」児童は全体で95%でした。これは、学校全体で取り組んでいるトリプルチェンジの学習効果の表れであり、今後も道徳や吹田市内全校で取り組んでいる「いじめが起きにくい学校づくり」を目的とした取り組みを進め、さらに規範意識を高めていきたいと思えます。



7 「家の人と携帯についてのルールを決めていますか」では、中高学年で70%がルールを決めているという回答でした。この項目については他の項目と比べ、昨年度より大きくポイントが上がっています。ご家庭で話す時間を持っていただきありがとうございます。学校でも、携帯電話教室やデジタルシティズンシップ教育などの取り組みを引き続き行っていきます。

8 「平日、どのくらいゲームをしていますか」では、低学年では0分が半数を占めており、1時間以上ゲームをしている割合が全体で14%でした。中高学年では、19%の人が3時間以上ゲームをしていると答えています。ゲーム依存にならないよう、定期的にご家庭でのルールを確認していただきたいと思ひます。

9 「学校以外でどのくらい勉強していますか」では、低学年は30分、中高学年は30分～1時間が多い割合となっています。家庭学習の時間の目安は、「学年×15分」と言われています。学習の定着には家庭学習がとても大切です。これを目標に、自主学習にも取り組むよう伝えていきたいと思ひます。

10 「どのくらいの時間読書していますか」では、読書時間が0～30分の児童が全体の65%を占めており、読書時間が少ない傾向にあります。学校では読書週間にスタンプラリーを行い、金曜日の放課後は2冊貸し出しを実施しています。ご家庭でも読書に慣れ親しむ家庭環境作りを心がけていただくようお願いいたします。

学校生活アンケートより

1 「学校は楽しい」では全体の92%が楽しいと感じています。その一方で楽しくないと思っている児童が8%います。どの児童も「学校が楽しい」と思えるように、学校全体として取り組んでいきます。

2 「授業はわかりやすい」では、全体で96%が肯定的回答でした。今後も全教職員で分かりやすい授業を目指して授業づくりに取り組んでいきます。

3 「自分の考えをまとめたり、発表したりできる授業がある」は、中・高学年で91%が肯定的回答でした。子どもたちが積極的に参加できる授業を、今後も目指していきたく思ひます。

4 「タブレットなどを使った授業は楽しい」では、全体で95%の児童が楽しいと回答しています。GIGAスクール構想でタブレットが一人一台配備され、PCは子どもたちにとって益々身近なものとなっています。今後も、それらを活用し「新しい学び」「楽しくて身になる授業」をしていきたく思ひます。

5 「先生たちはがんばったことをほめてくれる」と感じている児童は、全体で98%でした。今後も、子どもたちの様子をよく見て努力を認め、子どもたちの成長を見守っていきます。

6 「自分を大切にすることや友達への思いやりを学ぶことが多い」では、中・高学年で99%が肯定的な回答でした。これからも豊かな心を育てる授業に取り組んでいきます。

7 「先生は私たちの話をよく聞いてくれる」では、全体の97%、「学校には相談できる先生がいる」では、95%が肯定的解答でした。昨年に続きポイントはアップしています。引き続きどんな場面であっても、児童たちから気軽に話しかけられ、相談できる雰囲気づくりに努めていきたく思ひます。

保護者アンケートより

今年度は、すべての項目において肯定的な回答が86%を超えました。

先生たちは子どもの能力や努力を適切・公平に評価している。 99%

学校は礼儀やマナーを守る態度を育てようとしている。 99%

学校は子どもの安全や事故防止に配慮している。 98%

学校では子どもに関するプライバシーが守られている。 98%

学校は教育方針をわかりやすく伝えている。 98%

学校はいじめのない学級・学校づくりに取り組んでいる。 98%

学校は子どもに生命を大切にする心など、人権を尊重する意識を育てようとしている。 97%

学校は家庭への連絡や意思疎通を積極的にきめ細かく行っている。 95%

子どもは授業が楽しく分かりやすいと言っている。 95%

先生たちは子どものことについての相談に適切に応じている。 95%

など、合わせて23項目が90%を超えていました。

今後も、よりいっそう丁寧な連絡や対応に努め、保護者の皆様からの信頼を深めるよう取り組んでいきます。

これらのアンケート結果を受け止め、今後も引き続き改善に努めてまいります。また学校は保護者の皆様と連携・協力して、子どもたちの活きた学力向上のため、より良い教育活動を行っていきたく思ひます。今後ともご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。